



桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2005-2006年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕

Service above self

R.I 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原勝樹

会長 館 盛治 幹事 川島 康雄

クラブ会報・広報委員会 木村 滋洸 藤井 征夫 佐々木 裕 吉野雅比古 石島 久司 大友 一之

4月10日号

第2563回例会

(4月3日(月) 第1例会)

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1. 点鐘 | ライラ委員会 委員 蓬直孝君 |
| 2. 国歌斉唱 | 9. 結婚・誕生祝 |
| 3. 桐生市歌斉唱 | 10. 乾杯 |
| 4. 「四つのテスト」唱和 | 11. 会長の時間 |
| 5. 来訪者紹介 | 12. 幹事報告 |
| 6. ロータリー情報アワー | 13. 委員会報告 |
| 7. 米山カウンセラー感謝状の伝達 | 14. 卓話 「文人交流から見た江戸時代の桐生の繁栄」 |
| 8. 委嘱状の伝達 | 桐生南RC 佐羽秀夫様 |
| 2006-2007年度 国際ロータリー第2840地区
ガバナー諮問委員会 委員 吉野一郎君 | 15. 点鐘 |

ようこそビジター

〈卓話者〉 桐生南RC 佐羽秀夫様

ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員会 委員長 阿部高久君

ロータリー情報アワーは3人のメンバーで毎月担当しておりますが、私にとっては今日が最後の担当となります。来月の5月は久保田会員、6月は前原会員が担当して本年度は終わりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、前回は毎週行っている「例会」について申し上げましたが、今日は最後ですので「ロータリークラブについて」私の思いを幾つか申し上げたいと思います。

先日、久しぶりに100%出席例会をやりましたが、目標さえ持てば、メイク期間が前後2週間ある訳ですから100%出席は十分可能で、そんなに難しいことではありません。私が入会した当時は、例会出席は100%であるべきだと教えられて、私は未だに続けておりますが、100%出席を目標にしていく伝統は守るべきではないかと思います。

ところで、本場アメリカのロータリークラブは出席率が悪いと聞いておりますが、その平均が60%近くなので、ロータリーの60%ルールが生れたのではないかと言われております。その代わり、一旦出席したからには例え例会がどんなに長引いても、途中退席や居眠りをするメンバーは稀なようです。アメリカの大学でも居眠りする学生は殆どいないそうです。学生たちに聞いてみると折角授業を受けにきたのになぜ眠るのかとこう言われるそうです。

日本のRCでは、出席は良いのですが、居眠りをしたり、途中で帰る失礼を平気でやっておりまして、これはどうも文化の違いだろうと思いますが反省しなければならないと思います。

さて最近、「ロータリーはトップダウンではなく、ボトムアップであるべきだ」という意見をよく耳にしますが、残念ながらRCは正にトップダウンであります。R.Iの方針をガバナーを通して地区が受け、各地ロータリーに流してくる訳ですが、それを受け

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 每月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/>

メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

て各地ロータリーは姿勢的に守って活動して参りました。

果たしてこれでいいのでしょうか？各地ロータリークラブは自分たちの町にあって、そこで生活をしている訳ですから、先ず自分たちの町に対して、我々は何ができるかを考え奉仕活動を展開すべきで、「奉仕活動は個人でやるべきだ」などと理屈を言っているより、日本的にやり易いように活動していくべきではないかと思います。

現在 R C がやっている国際奉仕は大変重要ですが、いま大切なことはこの町で何が必要か、何が求められているのか？R C はなにができるか？特に会長になられる方は考えて欲しいと思います。例えば、青少年のエイズが大変増えている、或いは麻薬が蔓延しそうな状況です。また少子高齢化問題や深刻な環境問題等々色々な問題を抱えております。ロータリークラブは、こうした問題を一年に一つでも取り上げて問題提起していくべきではないかと思います。

そのために、先ずクラブ細則は桐生 R C 独自のものにしていくべきです。自分の細則を持たない団体はロータリークラブぐらいです。R I からの推奨クラブ細則をそのまま使用しているのでは自立心は生まれません。自分たち自身の細則を作るべきだと思います。ですから委員会も無駄なものは整理して、まちづくり委員会とか少子高齢化委員会、合併問題委員会などにしていくべきなのです。R I のことよりも自分たちのクラブが活動しやすいように変えていけばいいのです。事実、推奨クラブ細則の冒頭に「本細則は単に推奨されるに過ぎない。R I 定款・細則、クラブ定款と矛盾しない限り、クラブ自身の事情によって変更することができる」と書いてありますので、なんの問題もありません。

とにかく、ロータリークラブは地域主義をめざすべきではないかと思います。桐生市にある桐生 R C であるということを意識して、主体性をもって活動をしていく R C になった方が楽しくなると思いますが、これからみんなで討論して欲しいと思います。

結婚祝

前原正一君 51年 竹内康雄君 45年 矢野 昭君 45年
阿部高久君 42年 佐々木裕君 40年 金子篤郎君 40年
赤松 隆君 39年 川島康雄君 35年 須永博之君 25年
野間義弘君 16年 石島久司君 10年 吉田和夫君



誕生祝

吉野一郎君 84歳
堀 明君 54歳
木村滋洸君 49歳
近藤 一君 48歳



会長の時間

四月の第1例会です。まさに春爛漫です。梅・赤やしお・れんぎょう・そして桜。桜は咲く花を愛で散る花びらを惜しむ日本人の優しい心根の象徴です。そして桜の満開で春も全開です「春眠 晓を覚えず」つい朝寝をしてしまいます。「春宵一刻 値千金花に清香有り、月に陰有り」春の宵はひとときが千金にあたるほど貴重で、おぼろ月夜の中に漂ってくるすがすがしい花の香りといえれば夜桜の風影と思われます。

3月27日は我がクラブの観桜会でした。多数の会員の出席をいただき、賑やかに春の宵を大島親睦活動委員長の演出による、若いキュートな2人の女性が奏でるフルートの演奏で、ちらほら開花を始めた桜を見ながら楽しいひとときを過ごさせていただきました。関連委員会の皆様ありがとうございました。

さて私達の年度は残り3ヶ月となりました。任期は今年の6月までです。曾我ガバナーも月信にて述べていますが、大切なのは「後三ヶ月しかない」と言う理解でなく「まだ三ヶ月ある」と捉えて更なるクラブ組織・運営強化と奉仕活動にスピードとモチベーションを緩めずに望んでいただけたらと願っています。どうかあと3ヶ月を有効に過ごしましょう。3月28日(火)には桐生5 R C の第7回会長・幹事会が開催されました。協議事項は、5月27日(土)に桐生プリオパレスにて群馬大学留学生交流会についてが主議題でした。各クラブ5~10名の登録をお願いしたいとの要請を可決しました。クラブ役員及び国際奉仕関連の会員の出席をお願い致します。3月27日は養田隆会員のご尊父 養田金作様がご逝去されました。29日のお通夜、30日に葬儀・告別式は多数の会員の方のお手伝いをいただき、ありがとうございました。お礼申し上げます。

幹事報告

- 桐生南、桐生西、桐生中央の各 R C より週報到着。
- 事務局は4月4日(火)~5日(水)を休暇とさせていただきますので、緊急連絡の際には幹事へお願い致します。
- 例会終了後、第10回定期理事会を開催致しますので、理事・役員の皆様は出席をお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成18年4月3日)：総員66名・出席47名
平成18年3月13日例会修正出席率：100%

ニコニコボックス

桐生南 R C 佐羽秀夫様…本日は御世話になります／吉野一郎君・塙越平人君・佐藤富三君・森喜美男君・前原正一君・山口正夫君・川島康雄君・藤江 篤君…佐羽秀夫さん卓話ありがとうございます／塙越平人君…明日迄長崎屋の2Fで写真展をやっております。おついでがありましたら御出掛け下さい。／五十嵐健雄君…藤江先生に4月1日長男の嫁が大変お世話になりました／森喜美男君…蓮会員にガバナー補佐会議に代役をお願い致します／藤井征夫君…観桜会が今日でしたらね、館さん！／蓮 直孝君…米山奨学生の林君が無事卒業し日本モトローラに就職しまし

たので／養田 隆君…父の告別式には大変御世話になりました／前原正一君・矢野昭君・佐々木裕君・竹内康雄君・阿部高久君・金子篤郎君・川島康雄君・野間義弘君・石島久司君・吉田和夫君…結婚祝／吉野一郎君・塚越紀隆君・堀明君…誕生日祝／館 盛治君・前原正一君・牛脇 章君・佐々木裕君・前原勝良君・金子篤郎君・吉野雅比古君・野間義弘君・大島武司君・村田勝俊君・澤田匡宏君・園田 誠君・吉田和夫君…観桜会の写真を戴きました

卓 話



「文人交流から見た江戸時代の桐生の繁栄」

桐生南RC
佐羽秀夫様

群馬の森に有る県立近代美術館がこの1月に閉館になります。この為最後のイベントといたしまして、美術館、県立女子短大、と共同企画と致しまして、「江戸と桐生華やかりし文化交流展」を昨年12月に開催されました。

之は2世佐羽吉右衛門淡済、が兄の7世佐羽清右衛門竹翁の死に際して「花賤涙帖」と言う書画帳を作りました。題字は伊勢の大名増山雪済候序文は市河完済、絵は谷文鳥、始め酒井抱一等当時を代表する文人37名の豪華な顔ぶれで有りました。又当時のジャーナリストであった、菊池五山の五山堂詩話と言う本が発行されましたが、この中に桐生の長沢家、栗田家、等の当時の桐生の書家、画家、詩人、の事も多く出てまいります、が当時如何に桐生が繁栄して居た事がわかります。

地方の商人の佐羽家になぜこの様な力が有ったかこの事は当時の桐生と幕府、との関係に大いに関係して参ります。桐生新町は元々徳川家康、の命により大久保長安。天海聖人により野原の中に大野八郎右衛門により設計された、当時の軍需品として戦いに用いる旗絹の工場団地として作られた事はご承知の事と思います。慶長4年関川原の天下分け目の戦いに於いて桐生の2410匹の旗絹により大勝を治めにより、桐生から幕府に毎年同じ旗絹を納品しておりました。38年後の天草の乱以後、戦乱は収まり旗絹は不要となりましたので1646年以後は幕府に銭327貫150文を納めることになりました。そのかわり全国の名主以上の者に絹織物の着用の許可、がでました。今まで旗絹を取りまとめていた買い次商特に長沢家、玉上家、書上家、佐羽家に特権を与えたと思われます。

町民は絹の平織りも着用も許可されました。桐生の絹織物は軍需品から民需品へ展開して参りました。江戸、大阪、等全国において町民文化の歌舞伎、等の発展により桐生の織物は京都まで浸透して参り京都西陣より幕府に対して桐生織物に対して差し止めの嘆願書までが出るようになりました。桐生新町の領主で有った徳川綱吉が5代将軍になりますとこの傾向が激しくなり、いわゆる元禄時代には遂に桐生

織物は、生産60万両と言われる様に成りました。ついには、江戸の紀伊国屋伊右衛門幕府の御用商人は桐生からも運上金(特別税金)を取り立てるよう進言致しましたが、家康のお墨付きの為、かえって入牢をおうせつけられる始末。

1720年には江戸越後屋(三井)は玉上甚左右衛門から織物を仕入れるようになりました。ついには買い次商仲間の相談により1722年越後屋桐生店を認められる、現三越。1722年近江屋喜兵衛桐生に開業(現矢野商店)後に長沢家、矢野家、作り酒屋。5世佐羽清右衛門代となり桐生新町を治める様になるや、次男を佐羽吉右衛門として買い次商をさせる、江戸の大火により幕府は江戸4座曰く中村座、市村座、森田座、の三座を浅草に集め佐羽家に歓進元(経営)を命ず。吉原、も浅草に移転。

明治以降三座を纏め、明治座とする。

2世佐羽吉右衛門淡済大いにこれらを利用して桐生織物を宣伝、又隅田川に大船を作り深川に止め、墨田に屋敷を作り、百花園等にて大名、文人等を接待。又桐生小倉山に十山亭を作り、桐生に招待する。

文化、文政、時代遂に桐生の生産70万両と証する。桐生天満宮の改築(江戸丸はじめ呉服屋大いに賛同)

桐生新町年表

1590年 天正18年 寅／7月小田原城陥落、8月桐生領徳川家康支配 8月1日寅の日家康江戸に入る、榎原康正、天海、大久保長安、に江戸創設 8月7日大久保長安の手代、大野八郎右衛門、に桐生新町創設を命ず、八郎右衛門桐生新町代官として新町の線引き

1591年 天正19年 卯／4月梅原天神を現在の赤城の森に移す、天神より新川まで12町を6当分し6丁目年町の造成に着手、領内の機業を集合、機業団地の造成、(江戸の造成は浄土宗増上寺徳川家菩提所から寅の方位に湯島天神に線引き江戸を造成多分天海僧正の風水学に依る物と思われる、桐生も同じく造成される

1595年 文禄4年 未／初代佐羽清右衛門、伊勢より桐生に移住、この年桐生新町4丁目まで完成、佐羽家3丁目に居を構える、

1600年 慶長5年 子／7月桐生新町家康の命により2410台の織機にて一台一匹の旗絹を昼夜兼行にて織り上げ、天神様に於いて戦勝祈願の後、家康に献上、9月家康。関ヶ原の天下分け目の合戦に於いて大勝、以後毎年2410匹の旗絹を幕府に献上。

1611年 慶長17年 子／浄土宗淨運寺6丁目に完成、桐生新町完成、佐羽家始め桐生新町の主な家は浄土宗淨運寺の檀家となる。

1638年 寛永15年 子／天草の乱、平定、国内最後の戦乱、これ以後旗絹は不要。

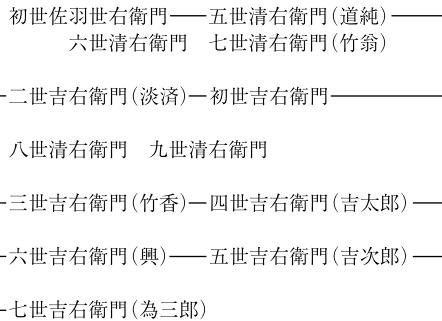
1643年 寛永20年 未／幕府、名主以上の者、絹織物着用を許可する。初代佐羽清右衛門、絹買い商(買い次)を開始、

1646年 正保3年 戊／幕府、桐生新町に対し旗絹の代わり銭三百壱拾七貫百五十文の金納を命ず。町人は絹物は紬の平織りを許可。

1661年 寛文12年 丑／松平綱吉、館林城主、桐生領、館林支配。天領継続を誓願。

1681年 天和元年 酉／松平綱吉、5代将軍となる、
1688年 元禄元年 辰／元禄バブル時代始まる、桐生、絹、
絹織物京都へ出荷。越後屋呉服商となる、絹織物需
要増大、
1698年 元禄11年 寅／江戸紀伊国屋伊衛門、幕府、
に桐生の繁栄に対し異議を申し立て運上金の徵収を
申し立てる、御神君、の言われにて紀伊国屋は处罚
される。
1702年 元禄14年 子／5世佐羽清右衛門道覚、佐羽
家5代となる。
1720年 享保5年 子／玉上甚左右衛門、越後屋の絹
代買いを請負、
1722年 享保7年 寅／越後屋桐生店開店 現三越
1736年 元文元年 辰／近江屋喜兵衛桐生に雑貨店開業、
現矢野。
1733年 元文3年 丑／西陣、弥兵衛、吉兵衛、桐生
に高機を伝来。高級織物開発。この頃より高機四百
台以上
1944年3月 西陣機屋仲間、幕府、に対し桐生の新規
織物移入制限を誓願。
1765年 明和2年酉／五世佐羽清右衛門、次男を新
宅とし初世佐羽吉右衛門として絹買店を開業、清右
衛門宅を東佐羽、吉右衛門宅を西佐羽と呼ぶ、清右
衛門は桐生の陣代として代官、職とし吉右衛門宅
に商売を譲る。この頃織物業の発達により、桐生近
郊の田畠が荒廃した。
1775年 安永4年酉／高彦九朗、桐生に来たり、日
記に桐生は豪商佐羽清右衛門に治めさせ表面の石高
の数十倍の石高で有る。京都問屋桐生の絹買商に対
し京都の呉服商に直接取引の拒絶、この頃より桐生
は山形松山藩の支配となり、陣や守り(代官)代理を
任命、佐羽吉右衛門を上席名主に任命、以後明治まで。
錦、文織り等開発。桐生の年間出荷額、すでに70万
両と言われる。(現在の7000億円に近い)
1793年 寛政5年 丑／天満宮社殿造営、1802年、二
世佐羽吉右衛門淡済、詩集発刊、
1806年 文化3年寅／江戸大火、幕府江戸の芝居小
屋4座を3座として浅草に纏め佐羽家に市村座、中
村座、猿若座、の勧進元(経営)を命ず。
1811年 文化7年申／淡済、二世吉右衛門となり、
桐生に当時の大窪詩仙、市川完済谷文鳥、菊池五山、
等の文人来桐、の為小倉山、に十山亭建設大船を作
り隅田川に浮かべ大名、文化人、を接待をする。
1813年 文化9年 戊／三世佐羽清右衛門竹翁(淡済の兄)
の為「花錢涙帖」を作る。
1825年 文政8年酉／二世吉右衛門淡済没、三世吉
右衛門竹香、家訓制定。
1829年 文政12年丑／渡辺華山、桐生に来る、天保
5年、6年来桐。
1840年 天保11年／桐生の年間取引70万両以上とな
る生糸百匁一両となる。
1858年 安政6年未／佐羽商店横浜開港により絹糸、
数万両輸出、この為諸物価騰幕府より差し止め、こ
れ以後佐羽商店輸入のみ、明治以後輸出再開

佐羽家系図



メークアップ情報

～例会変更～

桐生南RC

4月12日(木)→ 8日(土)創立40周年記念式典に振替のため
点鐘：午後5時00分
場所：セントセシリア迎賓館

桐生西RC

4月14日(金)→ 早朝坐禅例会のため
点鐘：午前6時30分
場所：光明寺
28日(金)→ 早朝健康診断のため
点鐘：午前7時00分
場所：桐生メディカルセンター

桐生中央RC

4月13日(木)→ 16日(日)観桜家族会へ振替のため
27日(木)→ 23日(日)渡良瀬クリーン運動へ参加のため

桐生赤城RC

4月25日(火)→ 早朝清掃のため
点鐘：午前6時30分
場所：相生運動公園周辺

*メークアップは前後2週間です*前メークをしましょう*

～近隣クラブの例会日～

月曜日

(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)
伊勢崎東 伊勢崎プリオパレス 12:30 0270-30-3344

火曜日

(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)
桐生赤城 桐生プリオパレス 12:30 0277-30-3321

伊勢崎南 プラザ・アリア 12:30 0270-23-1111

水曜日

(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)

桐生南 セントセシリア迎賓館 12:30 0277-52-5088

伊勢崎 ザ・クレインパーク山楽荘 12:10 0270-24-9966

木曜日

(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)

桐生中央 桐生プリオパレス 12:30 0277-77-0075

足利西 足利銀行葉鹿支店 12:30 0284-62-1697

伊勢崎中央 ニューいづみ 12:10 0270-20-6000

金曜日

(クラブ名) (例会場) (開始時間) (事務所TEL)

桐生西 桐生プリオパレス 12:30 0277-22-9155

群馬境 群馬銀行境支店 12:10 0270-74-4099